



# ヘルスケアエレクトロニクス研究会 第22回公開研究会

主催：ヘルスケアエレクトロニクス研究会  
共催：日本繊維機械学会

## ◆公開研究会のご案内

エレクトロニクス実装学会ヘルスケアエレクトロニクス研究会(主査：椎木 弘 (大阪公立大学))では、下記要領で公開研究会を開催しますのでご案内いたします。第22回公開研究会では、「パーソナルヘルスケア～スリープテックとフェムテックの今」と題しまして、5名の講師をお招きし、ご講演いただきます。また、全公演終了後に、技術交流会として各講師の皆様とのディスカッションの場を設けております。最新の技術トレンドを捉える機会として是非いろいろな分野の方々のご参加をお願いいたします。

開催日時 2026年3月19日(木) 13:00～17:45

(研究会終了後、現地別会場にて交流会を準備しております)

開催方式 会場現地とオンラインのハイブリッド開催

開催場所 ①AKKODiSコンサルティング株式会社(先着50名様まで)

(東京都港区芝浦3丁目4番1号 グランパークタワー3F)

②Zoom Meeting (先着100名様まで)

※参加URL等の聴講情報は、申込受付時のメールにてご連絡致します。

13:00～13:05

オープニング 主査挨拶、本日の講演について

13:05～13:50

「テーマ 今、なぜ睡眠が注目されるのか」

有限会社Sleeppeace 三橋 美穂 氏

<概要>

現代社会では、働き方の変化や情報過多、慢性的ストレスにより睡眠の質が低下し、健康・感情・生産性への影響が顕在化している。本発表では、睡眠が注目される社会的・科学的背景を整理したうえで、日本人に多い睡眠課題を概観する。さらに、行動変容を軸とした睡眠改善メソッドとスリープテックの活用可能性を紹介し、無理なく継続できる睡眠改善の実践的視点を提示する。

13:50～14:35

「テーマ 在宅用睡眠脳波計測器の開発で切り拓く睡眠事業」

株式会社S'UIMIN 大森元気 氏

<概要>

株式会社S'UIMINは筑波大学発スタートアップとして、微小信号を安定取得する設計と、睡眠脳波を即時解析するAIにより、睡眠を医療レベルの精度で可視化する在宅向き睡眠脳波計測デバイスを開発した。個々人の睡眠改善に向けたヘルスケア事業や、睡眠関連の商材開発や治験に活用する研究開発事業等を開発・拡大する中で見てきた、ヘルスケアエレクトロニクス技術による事業創出について紹介する。

14:35～14:45 休憩(10分)

14:45～15:30

「テーマ スマートフォンと連動するヘルスケア用生化学センシングシステム」

明治大学 理工学部 工藤 寛之 氏

<概要>

個人が自身の体液成分に関する情報を得る機会は、AI時代が幕を開けた現在もなお限定的であり、簡便な方法で情報化する技術の開発は喫緊の課題である。生体成分のビッグデータ構築に向けて、我々が開発を進めているウェアラブル・ポータブルなバイオセンサ群、並びにこれらを接続するスマートフォンプラットフォームの概要と、唾液中のエストラジオールや皮膚のサイトカイン計測への応用等について紹介する。

15:30～16:15

「テーマ AIウェアラブルが切り拓く乳房の新しい健康可視化と予防医療の未来」

デビス株式会社 デビス マリアナ 氏

<概要>

AIおよびバイオセンサー内蔵ウェアラブルデバイスを用いた乳房健康モニタリング技術“マンモケア”を開発した。乳房細胞の温度・湿度・生体リズムを連続測定し、女性の健康維持および早期異常検知への応用可能性を検討した。ノーベル生理学・医学賞対象の技術に基づいた測定原理を用い、予防医療と個別化ヘルスケアへの貢献を目的としている。

16:15～17:00

「テーマ 女性ホルモン等を簡便かつ高感度に検出するための分析システムの開発」

産業技術総合研究所 健康医工学研究部門 鈴木 祥夫 氏

<概要>

演者はこれまでに、“バイオセンシング機能を有する新規機能性材料の創製とそれらを利用した高機能光化学センサーの構築”というコンセプトに基づき、特定の生体物質等に感応して光学特性が鋭敏に変化する機能性材料の開発とセンシングへの応用を行ってきた。本講演ではこれまでに開発した化学センサーの開発事例と、最近、開発した女性ホルモンを高感度・高選択的に検出することが出来る分析システムについて述べる。

17:00～17:10 休憩(10分)

17:10～17:40 パネルディスカッション

17:40～17:45 閉会挨拶

17:45～19:30 ヘルスケアエレクトロニクス研究会技術交流会(現地別会場)

※プログラムは変更になることがありますので、ご了承ください。

## 参加要項

定 員 150名(先着申込順 定員になり次第締め切ります)

現地参加 50名、オンライン(Zoom Meeting)参加 100名

参 加 費(消費税込み)

正会員:5,000円、学生会員:1,000円、共催団体会員:別払い、シニア会員:2,000円

名誉会員:無料、賛助会員の社員:5,000円、賛助会員(クーポン利用):無料

非会員一般:12,000円、非会員学生:2,000円、JPCA会員:5,000円

## 注意事項(参加方法)

- ①申込が受理されますと、**返信メールで 公開研究会への参加 URLやお支払いに関する情報**をご連絡致します。
- ②ご申請の順に従って、参加費のお支払いをお願い致します。(お支払い方法:クレジットカード決済、コンビニ決済)
- ③請求書や振込確認後の領収書のご発行は、返信メールのマイページから出力が可能です。
- ④WEBの請求書が原紙扱いになりますので、ご了承ください。
- ⑤賛助・特別クーポンは、1枚/1口まで(複数口の場合は口数分)利用可能です。申込時にクーポン番号等の全項目を記入しないと、利用できません。※複数枚使用希望がある場合はお問い合わせください。
- ⑥参加費決済方法:クレジットカード決済かコンビニ決済をご選択いただけます。

\* キャンセルポリシー

お申込み後のキャンセルはできません。

下記から参加申し込みをお願いします。

会員

賛助会員／JPCA会員

非会員

※クーポン使用の場合は「クーポン利用」をご選択ください。

問い合わせ先 一般社団法人エレクトロニクス実装学会

E-mail: opt-kennkyukai@jiep.or.jp

(メールアドレスは¥を@に置き換えてください)